

報告第2号

平成28年度 事業計画

平成 28 年度 事業計画

我が国の医薬分業は、薬物療法における安全確保と質の向上を目的として、分業元年と言われる昭和 49 年から、その定着に向けて着実に歩み続けてきており、同時に薬剤師会では処方せんの受入れ体制の整備を図るとともに、「かかりつけ薬局」の推奨に努めてきた。

全国の保険薬局における処方せんの応需状況は、日本薬剤師会発表による処方せんの推計受取率は 68.7%（静岡県 72.3%）、処方せん枚数は 7.75 億枚（静岡県 2.3 千万枚）まで達しており、その一方で、医薬分業の意義・目的が国民に伝わっていない、医薬分業のメリットが国民に実感できていないといった課題も指摘されている。

そのような状況の中、厚生労働省は薬剤師と薬局のあり方に変革を求めるとして、平成 27 年度において「患者のための薬局ビジョン」を公表し、また、「健康サポート薬局」の施行に関して、薬機法施行規則の一部を改正する省令及び健康サポート薬局の基準告示が公布された。「患者のための薬局ビジョン」は、医薬分業のもつ意義の大きさを評価した上で、薬局の役割が十分発揮されていないとの指摘を踏まえ、患者本位の医薬分業の実現に向けて、かかりつけ薬剤師・薬局の今後の姿を明らかにするとともに、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年、さらに 10 年後の 2035 年までの中長期的視野に立って、現在の薬局を患者本位の「かかりつけ薬局」に再編する道筋を示したものである。また、健康サポート薬局は、かかりつけ薬剤師・薬局の基本的な機能に加えて、地域住民による主体的な健康の保持増進を積極的に支援する機能を備えた薬局として、告示に定める基準を満たし、都道府県に届け出ることによって健康サポート薬局の表示ができ、健康サポート薬局である旨が、薬局機能情報提供制度により公表されることになった。

平成 28 年度調剤報酬改定においても、「かかりつけ薬剤師指導料」「かかりつけ薬剤師包括管理料」が新設され、基準調剤加算も一つに統合されるなど、「患者のための薬局ビジョン」の具現化に向けた取り組みが行われた。また、「立地から機能へ」「ばらばらから一つへ」と、かかりつけ薬剤師の評価のみならず、いわゆる大型駅前薬局の評価の見直しが行われた。

静岡県薬剤師会は、かかりつけ薬剤師・薬局の活用を推奨してきており、昨年 9 月には、日本薬剤師会において地域住民・患者から信頼される「かかりつけ薬剤師」「かかりつけ薬局」の役割について改めて取り纏め、会員に周知してきたが、すべての会員薬剤師・薬局が地域住民の健康意識を高め、健康寿命の延伸に貢献すべく薬局が安心して立ち寄りやすい身近な存在となり、地域包括ケアシステムの中で多職種と連携し、「健康サポート薬局」として活動できるようにしていかなければならない。

薬局・薬剤師による地域住民の主体的な健康の維持・増進の支援のため、平成 26・

27年度に静岡県健康づくり拠点薬局推進事業を実施してきている。本年度は、健康サポート薬局の推進・活用を図ることを含め、規模や立地条件など様々な薬局が全体として、健康サポートや地域包括ケアシステムに貢献できるようにしていくことが必要であり、かかりつけ薬剤師のいる薬局としてかかりつけ薬局が機能するよう、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた施策を進めていく。

また、薬剤師の生涯学習の推進、薬剤師養成のための薬学教育への対応、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く県民に浸透させるための広報活動、調剤過誤防止対策の推進、薬剤師会への入会促進施策等による組織強化など、引き続き所要の活動の充実に努める。

以上、本年度はこれらの課題に対応するとともに、公益社団法人として日本薬剤師会並びに県内の地域・職域薬剤師会との連携の下、次の事業を実施する。

- (1) 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業
- (2) 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業
- (3) 公衆衛生の普及及び指導に関する事業
- (4) 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業
- (5) 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業
- (6) 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業
- (7) 日本薬剤師会等との連携、協力及び支援に関する事業
- (8) 会員の福利厚生事業
- (9) その他会員を対象とした共益に関する事業

<公益目的事業>

薬剤師の倫理の高揚及び学術の振興を図り、薬学薬業の進歩発展を図ることにより、静岡県民の健康な生活の確保及び向上に寄与する事業

I 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

1 生涯学習の推進

<学術情報部>

- (1) 日本薬剤師研修センター及び静岡県薬剤師研修協議会が実施する生涯学習事業への協力
 - (2) 静岡県立大学薬学部による「薬剤師生涯学習支援講座」への協力
 - (3) 研修センター構想あり方検討有識者会議の開催
 - (4) eラーニングによる生涯学習・研修システムの検討
 - (5) 臨床及び疫学研究に関する倫理審査に係わる検討委員会設置の検討
 - (6) 地域薬剤師会生涯学習担当者会議の開催
- #### 2 薬剤師養成のための薬学教育への対応

- (1) 薬学教育協議会認定「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」の開催
 - (2) 日本薬剤師研修センター認定「認定実務実習指導薬剤師養成講習会」の開催
 - (3) 認定実務実習指導薬剤師フォローアップ研修会の開催
 - (4) 病院・薬局実務実習東海地区調整機構への参画
 - (5) 地域薬剤師会薬局実務実習担当学会議の開催
 - (6) 静岡県立大学薬学部薬局実務実習への協力
 - ア 静岡県立大学薬学部学生病院・薬局実務実習協議会への参画
 - イ 平成 28 年度薬学部 1 年生早期体験学習受入薬局の調整
 - ウ 実務実習報告会への参加
 - エ O S C E（客観的臨床能力評価試験）への評価者派遣
 - オ その他静岡県立大学薬学部が主催する関連事業への協力
 - (7) 改訂モデル・コアカリキュラムに基づく「認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ」に対応する薬学教育協議会実施のタスクフォース研修等への協力
 - (8) 東海薬学教育コンソーシアムへの協力
- 3 学術活動の推進
- (1) 第 49 回日本薬剤師会学術大会（愛知大会）への参加
 - (2) 第 49 回東海薬剤師学術大会（岐阜大会）への参加
 - (3) 日本薬学会等学術団体との連携

Ⅱ 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

<学術情報部>

- 1 医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させるための「薬と健康の週間」事業の推進
 - (1) 「薬と健康の週間」関連事業への助成
 - (2) 日本薬剤師会「薬と健康の週間」統一事業への協力
- 2 地域・職域薬剤師会主催の健康フェア等への協力
- 3 日本薬剤師会「薬剤イベントモニタリング（DEM）」事業への協力
- 4 高度管理医療機器等の販売業等に係る継続研修会の開催

<職能対策部>

- 5 健康サポート薬局推進事業の実施
 - (1) 地域健康課題研修会の開催
 - (2) 特定健診データの健康課題への対応マニュアルの作成
 - (3) 薬・健康相談出前講座の実施
 - (4) 健康サポート薬局制度の推進
 - ア 会員への周知と取り組みの支援
 - イ 健康サポート薬局に係る技能習得型（集合）研修の実施
 - ウ 関係行政機関・団体との連携

6 医療・介護保険制度への対応

(1) 調剤報酬請求の適正化

ア 調剤報酬請求事務講習会の開催

イ 薬歴管理等に関する地域薬剤師会主催の研修会等への講師の派遣

ウ 東海北陸厚生局実施の保険薬局に対する個別指導において、その措置が「再指導」若しくは「経過観察」であった場合の当該薬局に対する指導の実施

エ 審査支払関係団体との調整

(2) 調剤報酬改定に関する情報の収集及び提供

(3) 東海北陸厚生局等による保険薬局対象の「共同指導」「個別指導」「集团的個別指導」「集団指導」及び保険薬剤師対象の「集団指導」等への立会い

(4) 医療のIT化に伴う処方せん、薬歴、情報提供書類等の電子化に関する情報収集

(5) 地域薬剤師会社会保険担当者会議の開催

7 医薬品医療機器等法関係法令の遵守の徹底

(1) 一般用医薬品販売に関する講習会の開催

(2) 地域薬剤師会一般用医薬品担当者会議の開催

Ⅲ 公衆衛生の普及及び指導に関する事業

<学校保健部>

1 医薬品の正しい知識の普及と、薬物乱用防止のための「薬学講座」の実施

2 学校薬剤師講習会の開催

3 「学習指導要領」の改訂に伴う学校保健教育に係る学校薬剤師活動の検討

4 学校環境衛生活動の充実の検討

5 静岡県薬剤師会ホームページ学校薬剤師サイトの運営

6 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催

7 静岡県の「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」「危険ドラッグ撲滅運動」への協力

Ⅳ 薬事衛生の普及及び啓発に関する事業

<総務部>

1 会報「しずおか」の発行

2 静岡県薬剤師会ホームページの充実

3 薬剤師職能メディア啓発事業の実施

4 報道機関等内外コミュニケーション活動の推進

Ⅴ 地域医療への貢献及び医療安全の確保に関する事業

<学術情報部>

1 スポーツファーマシストによるドーピング防止活動及び教育啓発活動の推進

(1) 日本アンチ・ドーピング機構「公認スポーツファーマシスト認定制度」への協力

(2) 静岡県体育協会等によるアンチ・ドーピング活動への協力

(3) スポーツファーマシスト・スキルアップ研修会の開催

2 医薬品情報管理センターの運営

(1) 医薬品等に関する情報の収集及び解析

(2) 医薬品等に関する情報の会務組織、医療関係者及び関係機関・団体への提供

(3) 患者及び家族等が抱える医薬品等に関する相談・苦情の応需

(4) 高齢者医薬品安全使用推進事業の推進

(5) 医薬品情報管理センターのあり方の検討

<職能対策部>

3 調剤過誤防止対策の推進

(1) インシデント事例の収集及び提供

(2) 調剤過誤防止・医療安全管理講習会の開催

(3) 日本医療機能評価機構「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業」への協力

4 薬局における偽造処方せん及び多重受診患者に関する情報の収集及び対応

5 薬薬連携の向上に関する研究

6 地域医療の推進

(1) 「お薬手帳」の適正使用の推進

(2) 電子版お薬手帳サービスの普及促進の推進

(3) 麻薬小売業者間譲渡許可制度の推進

<地域医療部>

(4) 医療材料等供給体制整備事業の推進

(5) 訪問薬剤管理指導業務の支援

ア 臨床体験学習プログラム研修の実施

イ 薬局薬剤師のスキルアップ研修の実施

(ア) 医療連携推進研修会

(イ) 薬局薬剤師のコミュニケーションスキルアップ研修会

(ウ) 在宅医療に関する研修会

ウ 訪問薬剤管理指導業務啓発用チラシの作成

<職能対策部>

(6) 薬剤師確保対策の推進

ア 薬剤師復職支援プログラム研修の実施

イ 静岡県薬剤師会ホームページ「薬局で働こう」サイトの運営

<地域医療部>

(7) 在宅訪問実施可能薬局登録制度の推進

(8) 介護支援事業等向けの「お薬出前講座」の実施

- (9) 地域医療連携に関する情報の収集及び提供のあり方の検討
- (10) 静岡県薬剤師会ホームページ地域医療連携サイトの運営
- (11) 地域医療関係団体への協力
- (12) 地域薬剤師会地域医療担当者会議の開催

＜職能対策部＞

- 7 薬事・健康保険団体・機関が行う医薬分業関係事業への協力

VI 災害時等の医薬品の確保及び供給に関する事業

＜総務部＞

- 1 災害時における携帯電話情報連絡システムの普及
- 2 医療救護活動に関する防災訓練の実施
 - (1) 大規模地震発生時における被害状況調査に関する連絡訓練の実施
 - (2) 静岡県総合防災訓練及び地域防災訓練への協力
 - (3) 災害薬事コーディネーターの養成
- 3 地域・職域薬剤師会災害対策担当者会議の開催

＜収益事業＞

＜総務部＞

- 1 毒物劇物取扱者試験準備講習会の開催
- 2 斡旋書籍及び諸用紙の販売
- 3 事務室の賃貸

＜管理部門＞

＜総務部＞

- 1 地域・職域薬剤師会の法人化の支援
- 2 会員拡充対策の検討
- 3 地域・職域連絡協議会の開催
- 4 危機管理（災害対策を含む）への対応
- 5 日本薬剤師会HPKI（Health Public Key Infrastructure：保健医療福祉分野の公開鍵基盤）認証局（薬剤師資格証の発行）への対応
- 6 薬事功労者、学校保健功労者等の表彰及び推薦
- 7 日薬共済部、薬剤師年金、薬剤師国民年金基金、薬剤師賠償責任保険及び個人情報漏洩保険への加入の促進
- 8 静岡県医師会、静岡県歯科医師会、静岡県病院協会、静岡県病院薬剤師会、静岡県薬事振興会等関係団体との連携・協力
- 9 静岡県薬剤師会館の管理運営